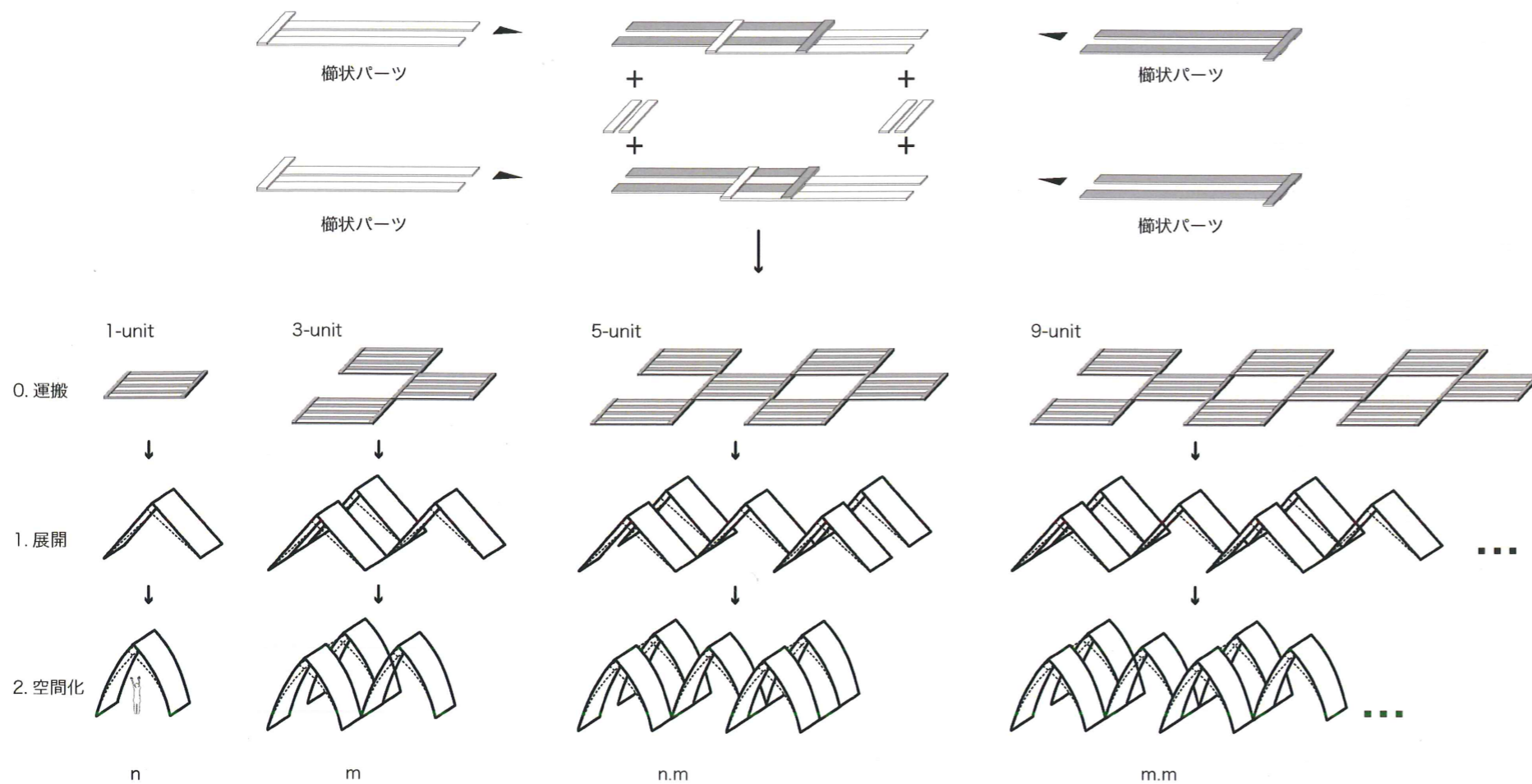
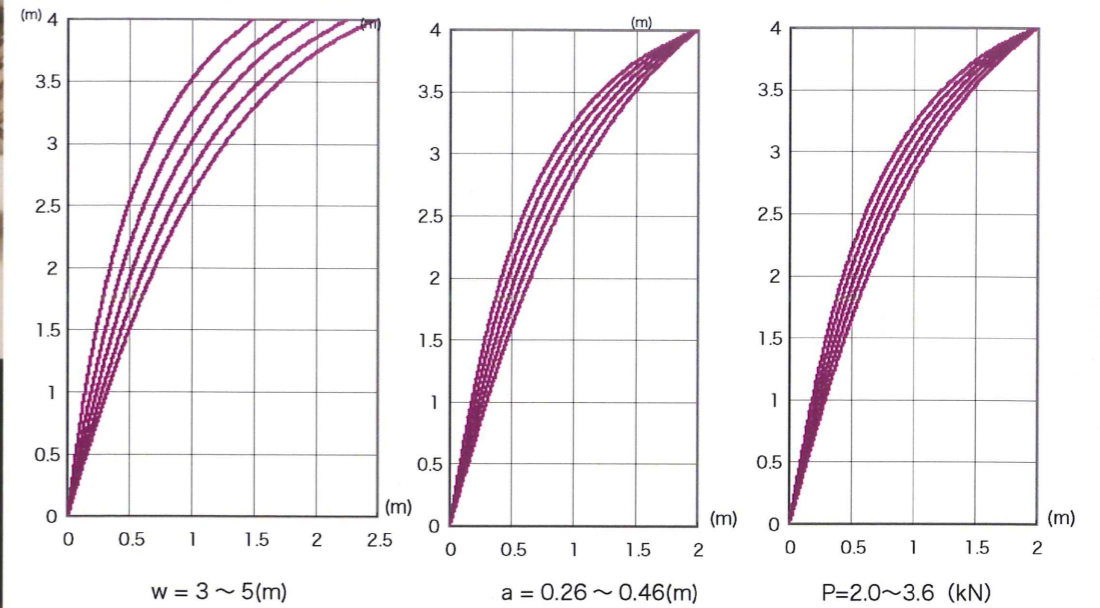


■シンプルな構法

長さの違う板材を並べて楕円状のパーツを作る。工場にて生産し、現場に展開する折りたたみ可能な架構である。プレートをスライドし、端部を引き寄せるとプレートが起き上がり、柔らかな空間が生まれる。材が少し曲がることで、頂点部分が締め付けられたシェル構造を形成する。木のしなやかさを利用した構造である。

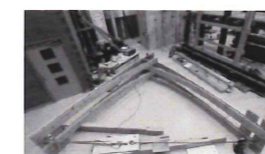
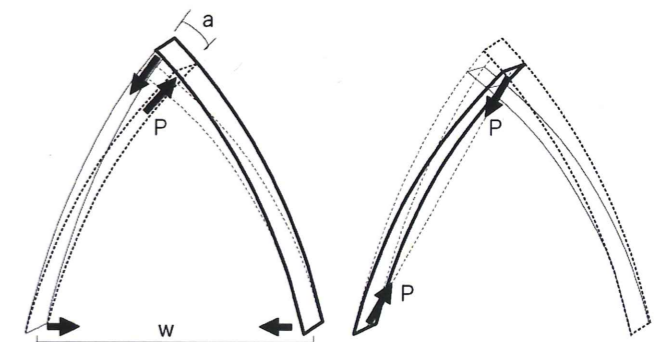


□アーチのアウトライン



□力の釣り合い

足元を引き寄せることによって外材は内材に押し上げられ、曲面を形成する。一方内材は圧縮力によってアーチ形状を描く。外材を両端ピン支持の単純ばりとしてモデル化しスパン w 、内材が外材を押し上げる力を P 、作用点 a をパラメータとして外材の形を検証した。



□様々な空間

幅と高さ、仕なり具合に合わせて、曲げる前の材長を算出します。両サイドから力を加える事で、様々な大きさの空間が形成されます。

